

会 議 録

会議名	平成 29 年度 緒川児童館情報交換会	
開催日時	平成 30 年 1 月 24 日（水） 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで	
開催場所	緒川児童館 図書室	
出席者	委員	久米緒川区長、竹内緒川小学校長 遠藤更生保護女性会支部長、山崎主任児童委員 久米民生・児童委員副地区長、 中瀬子ども会書記、上田母親クラブ会長 前田児童クラブ保護者代表 松月児童クラブ保護者代表
	事務局	新家保育係長、成田館長 伊藤主事
欠席者	なし	
議題	1 平成 29 年度 児童館活動状況 2 平成 30 年度 児童館活動計画 3 日頃のコミュニティ活動等に対する参加者の意見交換	
傍聴者の数	0 人	
審議内容	<p>◆児童課保育係長（あいさつ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会から情報交換会と名称変更になった。 <p>◆緒川区長（あいさつ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ラソがオープンした。 ・コミュニティまつりではコミュニティセンター、なないろ、グリーン・ラソ、児童館と連携して行事に参加している。地域として盛り上がっている。モデル地区として取り組んでいきたい。 <p>（自己紹介）</p> <p>◆事務局</p> <p>配布資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度活動状況について ・平成 30 年度活動計画について ・児童館利用状況について <p>◇参加者</p> <p>児童館はいろいろな事業をしていて地域や保護者の大きな力となっている。指導目標の上から 3 つは学校と同じ目標である。学校では自分で進んで考え行動することと人との関わりを大事にし</p>	

ている。その基本はあいさつである。

現代はスマホの普及で 2 割の子どもが親は自分よりスマホの方が大事だと思っている。(昨年 9 月の調べ)シンガポールの小 1 の子の作文から「ママのスマホになりたい」という絵本が出た。AI が普及して幾つかの職業はなくなるといわれている。人が人と関わらなくてもよくなってきているが人との関わりは生きていく上で大切である。

◇参加者

子どもは児童館に楽しく通っている。親は仕事をしているので児童クラブはありがたい。資料として児童館の様子を写真で紹介してあるが季節ごとに形が残っていくとよいと思った。写真の販売はないのか。

◇参加者

楽しく児童クラブに通っている。働く保護者にとって児童クラブはありがたい。4 年生まで通うつもりでいる。

◆事務局

写真の販売はお金をやり取りするので難しい。写真を撮り印刷して渡すなど方法を考えるとよいのではないのか。

◇参加者

上の子が 0 歳の時から児童館にお世話になっている。母親クラブは大変だったけど季節を感じる行事があり、友達ができ保育園にもつながっている。ストレス発散や気分転換にもなっている。

◇参加者

スクールガードとして関わっている。高齢者も利用してよいとあるがどうか。

◆事務局

実際東楽会以外の利用はほとんどない状況である。高齢者が児童館に来ていいことを情報誌にも載せていく。児童館としてどうやって関わりを持っていくのか。近隣の施設(例えばメドックなど)のことをよく知るため 2 月、3 月で 3 回施設を見に行くことを計画している。

◇参加者

児童館という名称も児童しか使えないように聞こえるので変えたほうがよいのではないのか。

◆事務局

東浦町は児童館が一般来館と児童クラブ育成という役割がある。児童クラブが他施設に移行したら考えるところである。

今年定員 70 名で来年 80 名とした。緒川は 6 名、石浜西は 8 名申し込みが定員を上回ったので定員を増やした。石浜西児童館は児童クラブ 3, 4 年が石浜児童館へ行き石浜児童館 3, 4 年生は片葩小学校へ行く。2 か所運営となる。

◇参加者

児童クラブの定員が今年 70 名から来年 80 名になるにあたって職員は増えるのか？職員の足りない分お年寄りのボランティアなどに来てもらってはどうか。

◆事務局

ホームページや広報で募集をしているが職員の確保には苦慮している。

◇参加者

賃金が安いからではないか。

◆事務局

来年は賃金の増額を行う。今後も近隣市町の状況を注視していく。

◇参加者

ふれあい事業、社協を通して老人との関わりを持つために児童館に来てもらったこともある。が来て何をしていいかわからずとまどい、職員もどうやって声をかけていいかわからない。子どもの中に入って話をしたり遊んだりしてくれたらと思う。来るだけでなく関わり方を考えていかないといけない。

「あったらいいな」ではひよこ・こっこの親子が遊びに来てくれると若さをもたらえるのか笑顔となる。関わりを何度も持つとだんだんと慣れていくのかと思う。

子どもが多くなることについて面積でというがその面積にじっとしている子どもはいない。また安全面からいうと本当はストーブなど置かない方がよい。これからは施設面でメンテナンスをしていかないといけないのではないか。

◆事務局

面積だけでいうともっと子どもの人数を増やせるがそういうわけではないことはわかっているので待機を出さないために 10 名定員を増加させた。この図書室のエアコンも新しくすることになっている。

	<p>◇参加者 ひよこ・こっこのボランティアとして関わってきたが主に 2 人だったので他の人にも伝えていくようにしたい。母親クラブの活動で五平餅を作った。ご飯をビニール袋に入れてつぶして直火で焼いた。小学校で行った防火訓練を生かした。4 組の参加があった。話を聞いていて午後から時間があいているときは見守ることができないかまた考えていきたい。</p> <p>◇参加者 避難訓練を年 2 回行っているとあるが図書室の電気は危なくないのか？</p> <p>◆事務局 耐震はしている。本棚は金具で倒れないように止めている。電気は屋根の構造上このようなデザインになっている。窓は徐々に飛散防止フィルムを貼っている。</p> <p>◆事務局 貴重な意見、提案をいただいたことにお礼を述べ、本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、午前 11 時 30 分に閉会を宣言。</p>
備考	児童館事業の一部を写真にて紹介